

第69期 決算のご報告

2024年4月1日から 2025年3月31日まで



エスケー化研株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
ここに第69期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の事業の概況について
ご報告申し上げます。

当期は政策金利の段階的な見直しが進む中、雇用や所得環境の改善やインバウンド
需要の拡大により、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、地政学リスク
の長期化、原材料や燃料価格を含む物価の高騰、為替相場の変動に加え、米国新政権
による今後の政策や中国経済への懸念等、先行きは不透明な状況が続いています。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件や物
流施設・データセンター等の需要が堅調に推移いたしました。一方、戸建住宅等の需要
は建設費の上昇、物価上昇による消費者マインドの低下により、ブレーキがかかりまし
た。また、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな
課題であり、運送費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、「無から有」の企業理念に基づき「環境性
向上」「資産価値の向上」「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードに建築用
仕上塗材・新型化学建材の分野において、新製品・新技術及び新需要の開発に取り組
んでまいりました。また、営業面においては超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応し
た省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等
の拡販に努め、売上高は1,061億42百万円(前年同期比5.2%増)となり、利益面では
原材料の高騰を受けて経費削減等を行い、高付加価値製品の販売拡大により営業利
益は124億44百万円(同3.0%増)、経常利益は為替変動の影響により148億74百万
円(同12.8%減)となりました。

次年度は、引き続きインバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善が進行する等
により、景気は緩やかな回復基調を維持するものと予想されますが、米国の保護主義
的な貿易政策、地政学リスク、エネルギーや資源価格の変動、さらに不安定な為替変
動等、世界経済および日本経済の先行きについては予測が困難な状況となっております。
こうした経済情勢の中、当社グループにおきましては、市場のニーズに対応した技
術開発・製品開発を推進し、新築・改修案件に対する確かな提案を行い、市場での信用拡
大・業績向上に向けて当社グループ一丸となって努めてまいります。

次期の業績の見通しにつきましては、原材料価格の高止まり、物流費や人件費の上
昇、為替の変動もあり売上高は1,090億円(当期比2.7%増)、営業利益128億円(当
期比2.9%増)、経常利益149億円(当期比0.2%増)、親会
社株主に帰属する当期純利益108億円(当期比0.7%増)を
予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康

安全

安心

環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1

※2024年NSK日本建築仕上材工業会調べ



企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国の経済は、政策金利の段階的な見直しが進む中、雇用や所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、地政学リスクの長期化、原材料や燃料価格を含む物価の高騰、為替相場の変動に加え、米国新政権による今後の政策や中国経済への懸念など、先行きは不透明な状況が続いています。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件や物流施設・データセンター等の需要が堅調に推移いたしました。一方、戸建住宅等の需要は建設費の上昇、物価上昇による消費者マインドの低下により、ブレーキがかかりました。また、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、運送費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境にあります。

このような状況下、当社グループは、運送費の高騰により運賃価格の見直しを行い、経費削減に努めるとともに、引き続き新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗料や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は、1,061億42百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面におきましては、原材料の高騰を受けて経費削減等を行い、営業利益は、124億44百万円（同3.0%増）となり、経常利益は、為替変動の影響等により148億74百万円（同12.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、107億29百万円（同9.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、特にリニューアル市場において超耐久性や超低汚染機能を備えた高付加価値製品プレミアムシリーズ等の販売を行い、売上高は935億20百万円（同4.3%増）と前連結会計年度に比べて38億78百万円の増収となりました。セグメント利益は134億8百万円（同2.0%増）と前連結会計年度に比べ

て2億60百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の再開発事業における受注は続いており、売上高は107億33百万円（同13.4%増）と前連結会計年度に比べて12億71百万円の増収となりました。セグメント利益は、15億63百万円（同12.2%増）と前連結会計年度に比べて1億70百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は18億88百万円（同6.1%増）と前連結会計年度に比べて1億8百万円の増収となりました。セグメント利益は1億59百万円（同25.3%増）と前連結会計年度に比べて32百万円の増益となりました。

企業集団が対応すべき課題

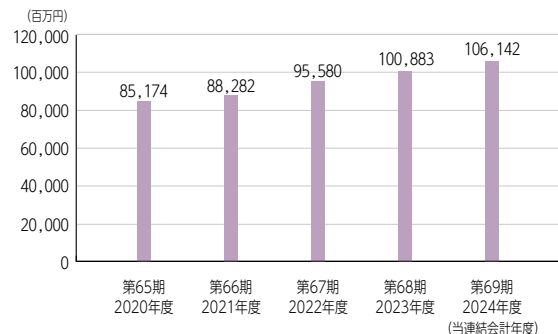
今後の見通しにつきましては、引き続きインバウンド需要の拡大や雇用・所得環境改善の進行等により、景気は緩やかに回復基調を維持するものと予想されますが、米国の保護主義的な貿易政策、地政学リスク、エネルギーや資源価格の変動、さらに不安定な為替変動など、世界経済および日本経済の先行きについては予測が困難な状況となっております。

こうした経済情勢の中、建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした再開発の需要等が見込まれますが、一方、労務者不足・人件費の高騰、物流コストや原材料価格の高騰等経営環境へのリスクも多く、依然として厳しい環境が続いております。

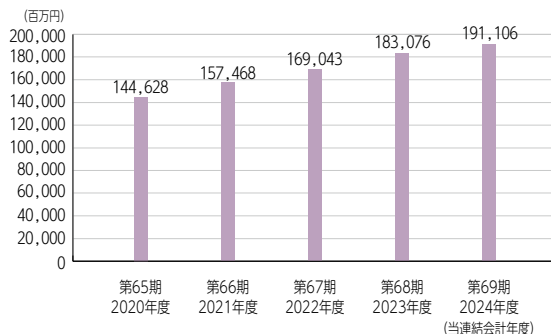
このような状況下、プレミアムシリーズ等の高級製品による需要の底上げ、耐火断熱や高耐候性・高意匠性の製品等を提案して既存取引先の深耕と新規開拓を推進して、常に、「無から有」をモットーに、「環境性向上」「資産価値の向上」「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードとして、需要開発に努めるとともに、経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

企業集団の財産及び損益の状況の推移

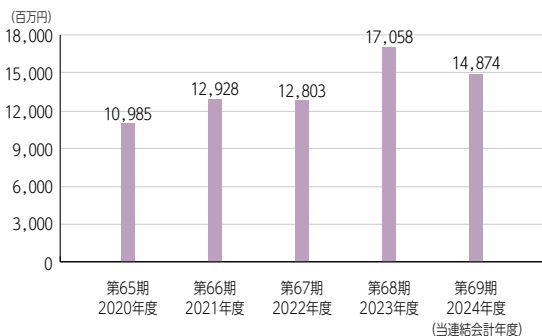
売上高



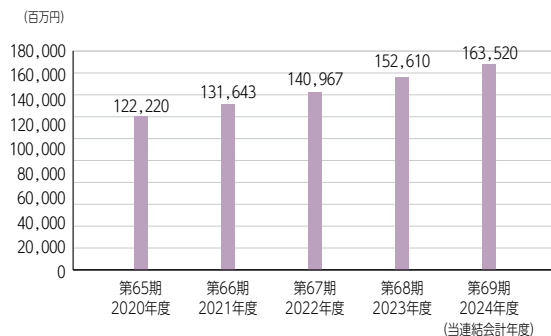
総資産



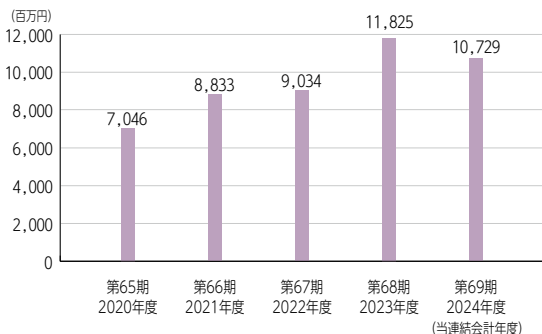
経常利益



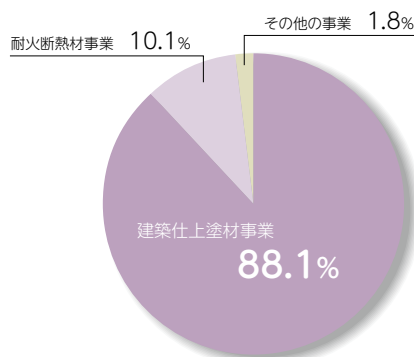
純資産



当期純利益



事業区分別売上高構成比



※「収益認識に関する会計基準」等を第66期の期首から適用しており、第66期以降に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の売上高となっております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	137,507	140,500
現金及び預金	105,885	108,790
受取手形及び売掛金	18,950	17,933
電子記録債権	3,171	3,797
商品及び製品	2,153	2,471
仕掛品	1,381	1,453
未成工事支出金	251	279
原材料及び貯蔵品	4,355	4,410
その他	1,374	1,383
貸倒引当金	△ 18	△ 20
固定資産	45,569	50,606
有形固定資産	12,875	13,996
建物及び構築物	3,366	3,319
機械装置及び運搬具	238	284
土地	8,278	9,132
建設仮勘定	177	471
その他	814	788
無形固定資産	803	844
投資その他の資産	31,890	35,765
投資有価証券	7,624	11,369
繰延税金資産	247	114
長期預金	20,011	20,010
退職給付に係る資産	1,594	1,812
その他	2,554	2,458
貸倒引当金	△ 143	△ 0
資産合計	183,076	191,106

科 目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	26,359	23,270
支払手形及び買掛金	8,787	7,610
短期借入金	3,000	3,000
未払金	6,612	6,693
未払法人税等	3,353	1,314
賞与引当金	1,925	1,931
役員賞与引当金	103	107
製品保証引当金	85	60
その他	2,491	2,552
固定負債	4,106	4,316
繰延税金負債	55	64
役員退職慰労引当金	1,284	1,315
退職給付に係る負債	147	144
その他	2,619	2,790
負債合計	30,466	27,586
(純資産の部)		
株主資本	148,724	157,705
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,170
利益剰余金	152,444	161,354
自己株式	△ 9,518	△ 9,480
その他の包括利益累計額	3,885	5,815
その他有価証券評価差額金	10	15
為替換算調整勘定	3,739	5,569
退職給付に係る調整累計額	135	230
純資産合計	152,610	163,520
負債純資産合計	183,076	191,106

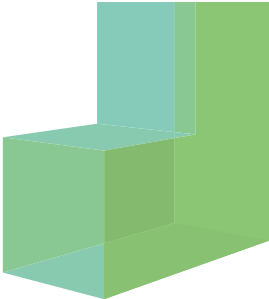
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度		当 連 結 会 計 年 度	
	2023年 4月1日から	2024年 3月31日まで	2024年 4月1日から	2025年 3月31日まで
売 上 高		100,883		106,142
売 上 原 価		70,047		73,873
売 上 総 利 益		30,835		32,268
販売費及び一般管理費		18,750		19,824
営 業 利 益		12,085		12,444
営 業 外 収 益				
受 取 利 息	1,669		1,945	
受 取 配 当 金	0		0	
為 替 差 益	3,487		－	
固 定 資 産 売 却 益	0		668	
為替換算調整勘定取崩益	－		13	
そ の 他	178	5,336	148	2,776
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	31		39	
為 替 差 損	－		302	
そ の 他	332	363	3	345
経 常 利 益		17,058		14,874
税金等調整前当期純利益		17,058		14,874
法人税、住民税及び事業税	5,413		4,059	
法 人 税 等 調 整 額	△ 181	5,232	85	4,144
当 期 純 利 益		11,825		10,729
非支配株主に帰属する当期純利益		－		－
親会社株主に帰属する当期純利益		11,825		10,729

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	152,444	△ 9,518	148,724	10	3,739	135	3,885	152,610
当 連 結 会 計 年 度 変 動 額										
剰余金の配当			△ 1,819		△ 1,819					△ 1,819
親会社株主に帰属する当期純利益			10,729		10,729					10,729
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分		32		39	72					72
株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額（純額）						4	1,829	95	1,929	1,929
当連結会計年度変動額合計	－	32	8,909	37	8,980	4	1,829	95	1,929	10,910
当 連 結 会 計 年 度 末 残 高	2,662	3,170	161,354	△ 9,480	157,705	15	5,569	230	5,815	163,520

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2024年 3月31日現在)	当事業年度 (2025年 3月31日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産	117,007	114,740
現金及び預金	90,981	89,338
受取手形	3,235	2,214
電子記録債権	3,171	3,797
売掛金	12,978	12,448
商品及び製品	1,599	1,823
仕掛品	1,366	1,436
未成工事支出金	248	274
原材料及び貯蔵品	2,558	2,514
その他	1,154	1,215
貸倒引当金	△ 287	△ 321
固 定 資 産	50,895	56,231
有形固定資産	11,258	12,234
建物	2,779	2,717
構築物	185	170
機械及び装置	209	202
車両運搬具	9	17
工具器具及び備品	93	61
土地	7,803	8,593
建設仮勘定	177	471
無形固定資産	45	49
ソフトウェア	30	34
その他	15	14
投資その他の資産	39,592	43,947
投資有価証券	7,624	11,368
関係会社株式	4,652	5,297
長期預金	20,000	20,000
長期貸付金	2,351	2,305
繰延税金資産	2,051	1,990
差入保証金	792	765
その他	2,909	3,025
貸倒引当金	△ 337	△ 356
投資損失引当金	△ 451	△ 449
資 産 合 計	167,902	170,971

科 目	前事業年度 (2024年 3月31日現在)	当事業年度 (2025年 3月31日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	23,061	19,169
支払手形	1,803	－
買掛金	6,635	6,974
短期借入金	3,000	3,000
未払金	4,759	4,563
未払費用	899	942
未払法人税等	3,218	1,079
未払消費税等	489	491
賞与引当金	1,861	1,857
役員賞与引当金	103	107
製品保証引当金	76	50
その他	213	101
固 定 負 債	3,445	3,642
退職給付引当金	147	145
役員退職慰労引当金	1,284	1,315
その他	2,013	2,181
負 債 合 計	26,506	22,811
(純資産の部)		
株 主 資 本	141,386	148,144
資 本 金	2,662	2,662
資 本 剰 余 金	3,137	3,170
資本準備金	210	210
その他資本剰余金	2,926	2,959
利 益 剰 余 金	145,105	151,793
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	144,650	151,338
固定資産圧縮積立金	11	10
別途積立金	131,050	140,550
繰越利益剰余金	13,589	10,778
自 己 株 式	△ 9,518	△ 9,480
評価・換算差額等	10	15
その他有価証券評価差額金	10	15
純 資 産 合 計	141,396	148,160
負 債 純 資 産 合 計	167,902	170,971

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 事 業 年 度		当 事 業 年 度	
	2023年 4月1日から	2024年 3月31日まで	2024年 4月1日から	2025年 3月31日まで
売 上 高		86,378		89,075
売 上 原 価		60,484		62,627
売 上 総 利 益		25,894		26,448
販売費及び一般管理費		14,984		15,591
営 業 利 益		10,909		10,856
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	2,504		1,518	
為 替 差 益	3,477		－	
投資損失引当金戻入額	3		2	
そ の 他	137	6,123	123	1,644
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	8		18	
為 替 差 損	－		261	
関係会社株式評価損	12		－	
そ の 他	4	25	1	281
経 常 利 益		17,007		12,219
税 引 前 当 期 純 利 益		17,007		12,219
法人税、住民税及び事業税	5,198		3,652	
法 人 税 等 調 整 額	△201	4,997	58	3,710
当 期 純 利 益		12,010		8,508

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	純資産合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金					
当 期 首 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	11	131,050	13,589	145,105	△9,518	141,386	10	141,396
当 期 変 動 額													
固定資産圧縮積立金の取崩						△ 1		1	－		－		－
別途積立金の積立							9,500	△ 9,500	－		－		－
剰余金の配当								△ 1,819	△ 1,819		△ 1,819		△ 1,819
当期純利益								8,508	8,508		8,508		8,508
自己株式の取得									△ 1	△ 1			△ 1
自己株式の処分			32	32					39	72			72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）											4	4	4
当 期 変 動 額 合 計	－	－	32	32	－	△ 1	9,500	△ 2,810	6,688	37	6,758	4	6,763
当 期 末 残 高	2,662	210	2,959	3,170	455	10	140,550	10,778	151,793	△ 9,480	148,144	15	148,160

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

■ 海外実績



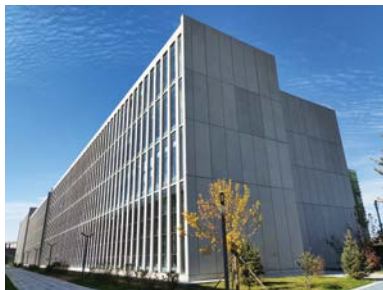
上海海泰北外滩ビル 中国・上海
シボカケンネオ、セラタイカ2号など



広州地下鉄7号線二期 中国・広州
セラノスターエコ（無機塗料）、水性ミラクボーセイ



atmos インドネシア
ファインモルタル



瀋陽万博材料研究センター 中国・瀋陽
セラミクリートカラークリヤー Si



ホープウェルセンターII新築工事 香港
ファインメタクイーンIN、グラニビエーレなど



One Bangkok R1 Cinema Building タイ・バンコク
クリーンマイルドウレタン艶有り



ペナン州高等裁判所外壁改装 マレーシア
コンボシリコンW55、アクリスターライト、SKグロスソフト



Affinity シンガポール
インターマツト、バイオファイン、レナラックなど

新製品リリース情報

バイオマスマーク認定商品の開発など続々と新製品を上市しました。

国内初となる環境対応型のバイオマス塗料「エスケーバイオマス無機GR」、戸建て塗り替え市場で好評をいただいておりますエスケープレミアムシリーズから待望の屋根用遮熱塗料「エスケープレミアム無機ルーフ遮熱」、サイディング壁など多彩模様塗料でリフォームが可能な「エスケープレミアムマルチカラーⅡ」などシリーズラインアップを拡充しました。また、高意匠性製品のメタリック調塗材「ファインメタクweenIN」をはじめ、リサイクル骨材を採用した次世代型サンドセラミック塗材「サンドエレガンテモア」を開発。環境にも配慮した新しい製品づくりに貢献しております。



「エスケーバイオマス無機GR」

「エスケープレミアム
無機ルーフ遮熱」「エスケープレミアム
マルチカラーⅡ」

「アートフレッシュシリーズ」



「ファインメタクweenIN」



「サンドエレガンテモア」

展示会・催事情報紹介

- FOOMA JAPAN 2024 へ出展 6月
- 新製品発表会 2024 の開催 9～10月
(全国 22 カ所)
- JAPANTECH 2024 へ出展 11月
- JAPAN SHOP 2024 へ出展 3月

各種大規模展示会へ製品の展示とご紹介、新製品・新工法などのご提案、PR活動など実施いたしました。



<FOOMA JAPAN 2024 出展の様子>



<JAPAN SHOP 2024 出展の様子>



<JAPANTECH 2024 出展の様子>



<新製品発表会 2024 の様子>

ホームページ・情報紹介

サイトリニューアル・IR 情報・新着情報などタイムリーな情報提供を。

- 高意匠性装飾仕上塗材シリーズの「NFDシリーズサイト」をリニューアルしました。
- 耐火被覆材／不燃断熱材・不燃コート材「物流施設へのご提案」サイトを新設しました。
- 住宅塗り替えシミュレーションサイトに建物タイプを新たに追加しました。
- 耐火塗料「SKタイカコートHS」が鋼管柱の1.5 時間耐火認定を取得しました。
- 耐火塗料「SKタイカコートHS」が梁の1.5 時間耐火認定を取得しました。
- 上海営業所にショールームが完成しました。
- 上海工場で「緑色建材製品認定証」を取得しました。



＜ホームページ内の新設サイト＞



「緑色建材製品認定証」



＜上海ショールームが完成＞

株主優待制度のお知らせ

優待ポイントに応じて
お好きな贈呈品を
お選びいただけます。

株主優待品としてオンラインギフトをご用意いたしました。専用ウェブページへアクセスしていただきますと優待ポイント内で様々な商品をお選びいただけます。複数商品の選択も可能です。是非ご利用ください。詳細につきましては別途郵送しますので、ご確認ください。
※商品の一例をご紹介します



エスケー化研オリジナル QUO カード
1,000円分・5,000円分

おススめギフトセット5,000pt

- 1. カゴメ フルーツ＋野菜飲料ギフト
- 2. 宮崎【大淀河畔 みちのく】ソーセージセット



5,000pt
蔵王牛すき焼

おススめギフトセット6,000pt

- 1. スイートバスケット焼き菓子バラエティ詰合せ
- 2. 【ダロワイヨ】マカロンラスク (18 枚入)



会社概要 (2025年3月31日現在)

設 立 1958年4月17日

資 本 金 26億62百万円

連結純資産 1,635億20百万円

企業集団の
従業員数 2,378名（臨時従業員を除く）

事業内容

- 建築仕上塗材事業
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、
高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業
各種化成品の製造販売



本社

役員 (2025年6月30日現在)

取締役会長	藤 井 實	取締役 長 塚 孝 史
代表取締役社長	藤 井 実 広	取締役 西 田 伸 二
専務取締役	坂 本 雅 英	取締役 本 竜 坦 道
常務取締役	片 岡 秀 人	取締役 濱 名 正 二
取締役	藤 井 訓 広	取締役 竹 原 道 幸
取締役	福 岡 透	取締役 尾 崎 賢
取締役	竹 内 正 博	

主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)

SKK (H.K.) CO.,LTD. (香港)

H.K.SHIKOKU CO.,LTD. (香港)

SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD. (上海)

SK KAKEN (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD. (マレーシア)

SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

PT SKK KAKEN INDONESIA (インドネシア)

PT SKK KAKEN KONSTRUKSI (インドネシア)

PT SKK KAKEN DISTRIBUTUSI (インドネシア)



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.
／上海営業所



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.
／北京分公司



SKK (H.K.) CO.,LTD.



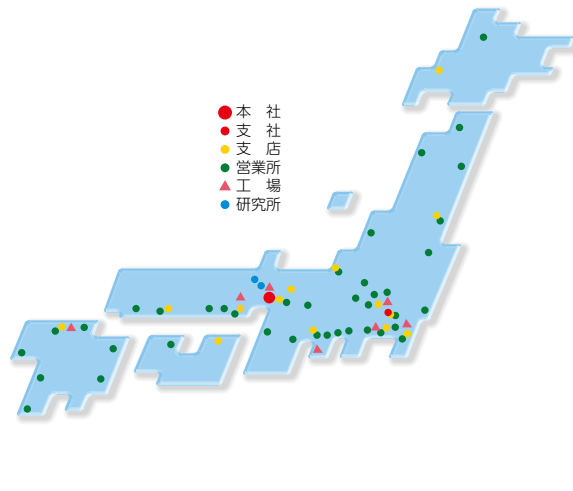
第一技術研究所



第二技術研究所

■ 国内主要事業所 (2025年6月30日現在)

本 社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
国 際 事 業 本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
東 京 支 社	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
札 幌 支 店	〒065-0042	北海道札幌市東区本町二条10-2-39
仙 台 支 店	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野1-5-12
東 京 支 店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
千 葉 支 店	〒263-0003	千葉県千葉市稲毛区小深町122-1
埼 玉 支 店	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6-30-48
横 浜 支 店	〒244-0801	神奈川県横浜市戸塚区品濃町549-2
北 陸 支 店	〒920-8203	石川県金沢市鞍月3-34
名 古 屋 支 店	〒451-0044	愛知県名古屋市区西區菊井2-14-19
京 都 支 店	〒612-8415	京都府京都市伏見区竹田中島町263
大 阪 支 店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31
神 戸 支 店	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1
広 島 支 店	〒731-5161	広島県広島市佐伯区五日市港2-1-5
高 松 支 店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3
福 岡 支 店	〒813-0062	福岡県福岡市東区松島5-6-16
大 利 根 工 場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1
埼 玉 工 場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6
神 奈 川 工 場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30
名 古 屋 工 場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2
大 阪 工 場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5
兵 庫 工 場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40
九 州 工 場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
第一技術研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10
第二技術研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1
SKKグローバルセンター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2
他営業所全国55ヶ所		



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



大利根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



株 主 メ モ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月 31 日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月 31 日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所スタンダード市場
公 告 方 法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>